

令和2年(2020年)9月29日



腰切不動尊の御堂の前で行われた読経＝三島市南本町

御堂や石仏きれいに

腰切不動尊 9月例祭 GW三島が清掃、読経

安産や下の病に御利益があると伝えられる腰切不動尊の9月例祭が28日、三島市南本町にある同尊の御堂前で終わった。NPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)が清掃や読経で清めた。

同尊は、1633(寛永10)年に、御殿川の水車場の川底から見つかったと伝えられている。石仏はへそから上の上半身しか彫られているが、いなかっただため「腰切」の名で呼ばれ、信仰を集めた。

同NPOが、毎年5月に大祭、1、9月に例祭を行っている。この日の例祭には会員6人が参列し、例祭ののぼり旗を立て、御堂や祠(ほこら)、石仏をきれいにし、礼拝した。同NPOの美和将弘さんは「地域の伝統を継承し、今後も支えていきたい」と話

した。